

上流部被災地の現在は？

～白浜町民の方々が熊野地区の砂防事業の見学に訪れました～

和歌山県田辺市熊野(いや)地区では、平成23年の台風第12号による土砂災害被害を受けた日置(ひき)川水系熊野(いや)川で、土砂災害対策工事として砂防施設の建造といった国の砂防事業が進んでいます。今回、熊野(いや)川の約40km下流に居住する住民の方々が上流部の熊野地区の現場の見学に訪れました。

<開催日>

令和4年10月24日(月) 14:00～16:00

<内容>

深層崩壊地等の見学・事業の説明
砂防施設建設現場の見学

参加者の皆様には、発災から11年が経過した今の現場の状況や濁水に配慮した施工を行っていることを説明しました。



熊野(いや)地区現場空中写真



参加者代表からの感想

今回、このような場を設けていただきありがたく思う。日置(ひき)川水系上流部の熊野(いや)川の砂防施設を見学したことで、土砂災害・環境に対してどのような対策がなされているかを知ることができ、勉強になった。

紀伊山系砂防事務所は、引き続き早期の事業完了を目指し、事業を進めて参ります！

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

